

博物館だより

第46号

新収蔵資料紹介

長野市小島田町1414 ☎026(284)9011



阿弥陀三尊像^{すりぼとけ}版木と摺仏^{（元善町 玄證院寄託 縦84×横37.5cm）}

（墨書銘）「ヲナガヤ勝右衛門 天保5年(1834)8月25日造 目方一貫百八十目」

この版木は、善光寺三十九院坊の一つ玄證院に伝えられ、今年度新たに寄託された資料です。版木は全体の約三分の一のところで縦に割れたものを、最近の修理でつないであります。墨書にあるヲナガヤ勝右衛門が彫師として天保5年に彫ったものでしょう。重さは約4.4kg。目方は版木の重さをあらわしています。

こうした「紙絵」と称する一枚刷りの刷り物は、その手軽さから善光寺土産として人気がありました。「諸国道中商人鑑^{かみえ}」には、善光寺門前の経師屋・双松堂林左衛門の店先に「御免如来御影表具^{あきんどかがみ}」と書かれた大きな看板が掛けられ、宣伝文句に「諸国霊場の御影を持参し一泊すれば、お好みしだいに仕立て、出立に間に合わせます」と書かれています。

（降幡浩樹）

常設展示室にコンピュータがもう1台仲間入り

星の世界でおたのしみください!!

博物館常設展示室の一番最後のコーナーは何でしょうか？答えは「長野市とその周辺」と題してスライドコーナーになっています。その隣にはコンピュータが2台設置されています。それぞれ、一つは「郷土の今昔」もう一つは「長野市の文化財／チャレンジクイズ」です。

今回、最後のスライドコーナーに代わりコンピュータを導入します。それは、「星の世界」というタイトルです。それでは、天文・宇宙の世界へどうぞ！

〈見たい時の星空が見られる！〉

あなたが希望する年・月・時の星空を瞬時に見ることができます。例えば、あなたが生まれた日の星空等々。

また、画面をさわる前はその時のリアルタイムの星空になっています。もちろんそれは昼間ですから実際には見えない星空ですが、もし星が見えたらこんな星空になっているという状況を再現しています。

〈星座と神話が見られる！〉

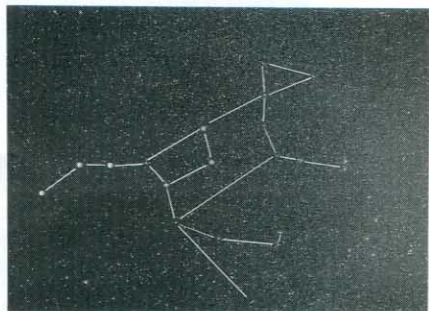
季節の星座や星座にまつわる神話を絵とナレーションで見ることができます。星座を探した後はその星座にどんな話が秘められているのかを知ること、星を見る楽しみが増していきます。

〈他に何が見られるか？〉

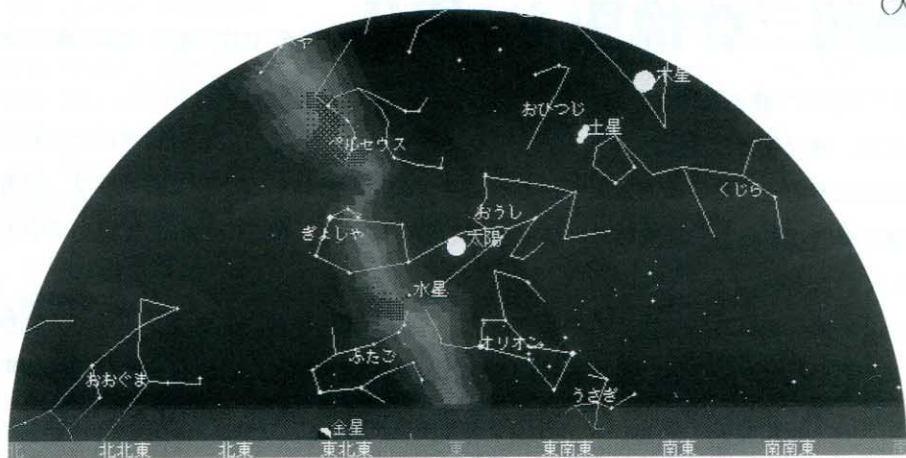
その他にも星雲星団、太陽系の天体、長野市立博物館のプラネタリウム、長野県内の他のプラネタリウムの案内、夜空の明るさについてなど、新しい映像を取り入れて星や宇宙を探検できます。

このコンピュータは使い方に順序はないので、皆さんが自由に宇宙を散策してください。

(大蔵 満)



▲ おおぐま座



長野盆地探訪“総合講座”へのお誘い

私たちが生活する長野盆地は長い歴史の中で培^{つちか}われたいろいろな要素から、成り立っています。千曲川と犀川が形成する特有な地形、地形に左右される生活環境、地形と土壤に係わりの深い特産物、洪水と戦ってきた生活の知恵、まわりの山々との係わり、歴史上の戦乱の舞台、地震災害、地すべり被害、盆地の堆積^{たいせき}と沈降など過去ばかりでなく現在まで係わりのある事柄が複雑^{から}に絡み合っており、私たちの生活環境を作っています。こうした様々な事象について、過去を再認識し、現在の生活に活かす方策を探り、ひいては未来へ地域文化として送り出すために、総合講座を開講しています。

平成9年度から「長野盆地探訪総合講座」と題して、地域と密着したテーマを選択して、実施しています。平成9年度は、「善光寺地震と長野盆地」のテーマで講義と現地見学を5回にわたって行いました。地質学から「善光寺地震発生のメカニズム」、歴史学から「記録された善光寺地震」、考古学から「遺跡にみる地震の跡」を取り上げました。講義と現地見学を重ねることで、テーマの理解がより深化したと思われます。

平成10年度には、「千曲川」をテーマとして取り上げ、10回の講座として開講しました。「千曲川の形成と地質」、「千曲川流域の遺跡」、「千曲川通船と渡し」、「川に係わる信仰と暮らし」、「天の川」について、講義と現地見学を行いました。6月から翌年の3月までという長丁場でしたが、受講者は毎回熱心に参加されました。博物館の講座をきっかけにそれぞれの立場で、過去の事象と現在との接点を日々の生活の中で模索^{もさく}していった欲しいと思います。

平成11年度は、「長野盆地を囲む山々」をテーマに7月から11月（毎月第3木曜日）までの連続講座を実施します。「山々の形成」、「山々の自然」、「山の恵みと暮らし」、「山地の遺跡立地と生活」、「山村の年中行事」という5項目を予定しています。

平成11年度は、講義と現地見学を1日で行う予定です。大地に刻まれた太古の歴史、脈々と受け継がれる生活習慣^{へんぐう}、変貌する生活など多様な面からテーマにアプローチしていきます。

皆さんの参加をお待ちしています。詳細は、博物館までお問い合わせください。（山口 明）



▲「千曲川流域の遺跡」平成10年9月17日
篠ノ井遺跡群の発掘現場を見学



▲「千曲川通船と渡し」平成10年11月1日
大正末まで使用された飯山湊の跡を見学

INFORMATION

—お知らせ—

◆博物館平成11年度の展示日程(4月～6月)

- ※新収蔵資料展 4月24日(土)～6月27日(日) 特別展示室(寄贈・寄託・購入資料を展示)
- ※サンシャインプラネタリウム天体写真コンテスト入賞作品展(アマチュア最高レベルの天体写真)
4月10日(土)～6月13日(日) エントランスホール
- ※企画展「茶臼山の化石」3月27日(土)～11月7日(日) 自然史館(植物や貝の化石を展示)
- ※ミニコーナー「早春の自然」5月9日(日)まで 自然史館(植物の写真パネル展示)
- ※ミニコーナー「初夏の自然」5月15日(土)～8月8日(日) 自然史館(植物の写真パネル展示)
- ※常設展コーナー展示「慈悲のまなざし」—中世の^{ちゅうせうぞうぶつ}鑄造仏—新発見の「鑄造不動明王坐像」
4月24日(土)～5月30日(日) (市内茅井地区の1187年銘の仏像)
- ※常設展コーナー展示「慈悲のまなざし」—善光寺信仰—^{みょうせんじ}信濃町明尊寺の銅造阿彌陀如来立像
6月19日(土)～7月20日(日) (もと戸隠山にあった善光寺仏の中尊を展示)

寄贈・寄託・購入資料の紹介

平成10年度も多く資料のご寄贈・ご寄託をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)
(寄贈資料)

「民俗」

片桐洋一(松代町) 消防ポンプ
金子俊司(南千歳) 夜着他1点
小林 進(柳原) 整経器2点
小林恒夫(若穂) 肥桶
小林みね子(青木島町) 外套他1点
小松 国雄(佐久市) 瓦焼き道具
坂井 千秋(駒ヶ根市) 鬼瓦他1点
篠ノ井カトリック教会(篠ノ井) オルガン
高山 八郎(愛知県碧南市) 土人形
竹内 泰雄(上田市) 蘇民将来符
塚田 孝一(稲里町) 唐箕
内藤 安夫(中御所) 瓦焼き道具
中沢 邦佐(篠ノ井) たらい
浜村 善雄(川中島町) 軍服
馬場みつよ(小島田町) 日和下駄他3点

(寄託資料)

「歴史」

荒井 豊(往生地) 長野市債5点

(購入資料)

「歴史」

三語便覧(仏・英・蘭)3冊揃・引札・瓦版信濃国大地震他3点・市川家文書96点・上州草津温泉道中記・松代城下絵図・権堂村売女屋井売女屋名前書上帳・諸国道中金の草鞋善光寺参詣・上州富岡製糸場(木版墨摺)・北越軍記25冊揃・栗田村文書90点・阿彌陀三尊像(摺仏)・飯縄山村境絵図・川中島古戦場絵葉書他2点・長野市議会資料一括

樋口家(松代町) 婚礼打掛他24点
藤沢善三郎(南高田) 軍服他9点
藤松 滋(豊科町) 瓦焼き道具他1点
宮本 幸治(松代町) 座繰り他1点
吉田 茂成(真島町) 藁草履
和歌月忠宏(松代町) 千歯扱き他3点

「歴史」

北田 則子(若里) 絵葉書
塚田 ちか(北石堂町) 塚田慈延短冊掛軸
塚田 孝助(北石堂町) 塚田大峯掛軸他1点
中沢 邦佐(篠ノ井) 地図類
長江 徳子(神奈川県横浜市) 塚田大峯掛軸他2点
樋口 利雄(愛知県名古屋) 樋口家資料一括

「考古」

宇都宮和男(篠ノ井) 瓦片他6点

大日方茂雄(松代町) 大日方家資料一括
玄證院(元善町) 阿彌陀三尊像版木他1点